

容器包装の 3 R を進める全国ネットワーク

設立アピール

20 世紀の大量生産・大量消費の社会から、21 世紀のリデュース、リユース、リサイクルの“ 3 R の優先順位 ” に則った社会に転換できるかどうかを、全国の市民が注目しましたが、残念ながら、今回の容器包装リサイクル法の改正は、“ 問題を先送りする内容 ” に留まってしまいました。

したがって、わたしたちが、毎日、出しているごみの問題は、何も解決に向かっていません。

むしろ、増え続けている小型の P E T ボトルや、台所に溢れるレジ袋やプラスチック製の容器包装などが、“ 先送りされた問題 ” の深刻さを訴えかけています。

今回の改正が不十分だからこそ、逆に、少しでも発生抑制が強まるような、市民による働きかけが必要です。

さあ、次の見直しに向け、3 R の優先順位に則り、容器包装の 3 R 活動を進めましょう。そして、次の見直しでは、拡大生産者責任を徹底する方向での法改正を実現しましょう。

わたしたちは、「容器包装の 3 R を進める全国ネットワーク」を設立し、21 世紀の早い段階で、将来世代に胸を張ってバトンタッチできるような“ 持続可能な社会 ” の実現をめざして活動します。

2006 年 10 月 3 日

容器包装の 3 R を進める全国ネットワーク
設立集会参加者一同